# 第3回　恵庭市学力・体力向上推進会議

日　時　　平成31年2月15日（金）14時～
会　場　　恵庭市民会館　1階　第1会議室

＜ 次　　第 ＞

１　開　会

２　委員長挨拶

３　教育長挨拶

４　議　事
　１）英検IBAの実施結果について
　２）31年度　学力・体力向上に係る予算（案）について
　３）31年度　小学校体育授業支援事業（案）について
　４）恵庭市学力・体力向上推進会議設置要綱の一部改正（案）について

５　意見交換

６　次年度のスケジュールについて

７　閉　会

資料１

# 平成３０年度　英検ＩＢＡの実施結果について

## １．ねらい

学校や生徒本人が現在の英語力を把握するとともに、学習成果の確認や目標設定に活用することにより、英語力の向上を目指す。

## ２．実施日

平成３０年１２月１５日（土）・１７日（月）・１９日（水）

## ３．実施内容

（１）受験レベル　　テストＤ（３級～５級レベル）

（２）問題数／試験時間　　６５問／４５分

（リーディング３５問／２５分、リスニング３０問／２０分）

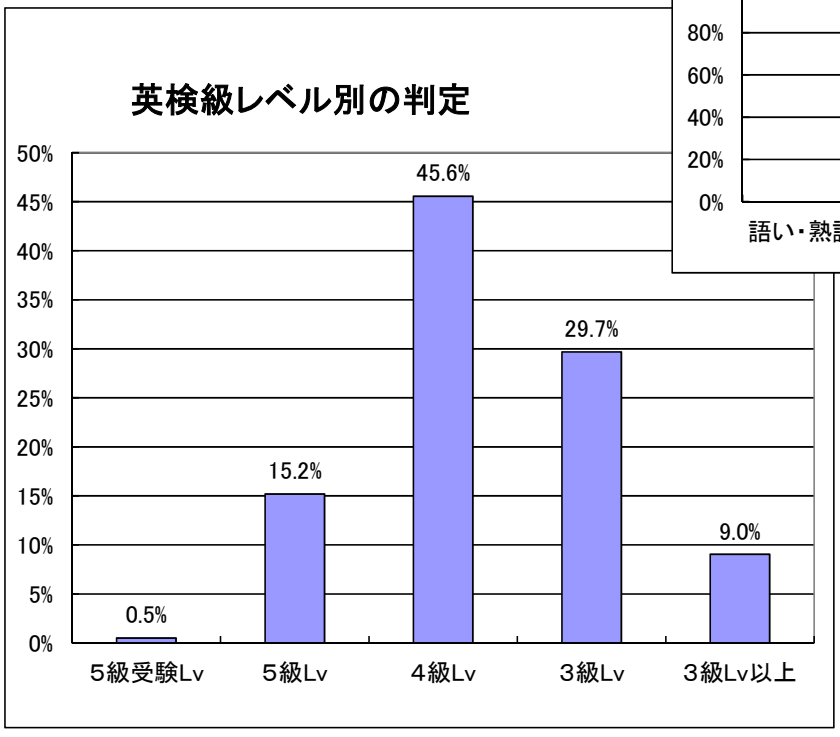
## ４．受験者数

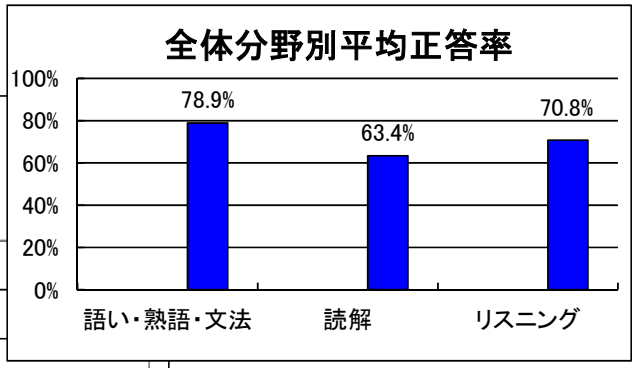
市内全校の中学校２年生　５８６名

## ５．実施結果

平均ＣＳＥスコア　７２０．３点（１０００満点）

※ＣＳＥスコア…英検などに共通したスコア尺度



資料２

# 平成 31 年度　学力・体力向上に係る予算（案）の概要について

## １．平成 30 年度　学力・体力向上に係る取組の推進状況

- ５月　　恵庭市学力・体力向上推進会議を設置
- ７月２５日（水）　第１回会議（学力・体力向上の取組について説明、意見交換）
- ８月　　学力・体力向上に関する委員からの意見を集約
- ９月１１日（火）　第２回会議（学力・体力向上施策について意見交換）
- １０月～１１月　　委員からの意見を踏まえ、次年度予算を要求
- ２月１５日（金）　第３回会議

## ２．平成 30 年度　委員から出された主な意見等

① 英検ＩＢＡは、実施後の成果・課題等を検証したうえで、拡大について検討する

② 外国語活動の教科化に伴い、英語教育の充実を図るため、ＡＬＴの配置を拡大する

③ 小学校体育授業支援は、市教委で取りまとめ、小学校全校で実施する

## ３．平成 31 年度　学力・体力向上に係る主な予算（案）

| 概要 | 区分 | 予算額（千円） |
|---|---|---|
| ●小学校体育授業支援<br>・北海道ハイテクＡＣアカデミー<br>・セントラルフィットネスクラブ恵み野 | 拡大 | 250 |
| ●標準学力検査（ＮＲＴ）の実施 | 継続 | 5,844 |
| ●英検ＩＢＡ受験対象の拡大 | 拡大 | 969 |
| 委託ＡＬＴ（外国語指導助手）３名（１名増員）<br>※ＪＥＴ－ＡＬＴ１名は継続任用 | 拡大 | 14,912 |
| ●外国語活動に係る地域人材の活用 | 拡大 | 1,314 |

資料３

# 平成 31 年度　小学校体育授業支援事業（案）について

## １．目的

小学校の体育授業において、市内の専門団体から指導を受けることにより、「児童の体力・実技能力の向上」及び「教員の指導能力の向上」を図る。

## ２．平成 31 年度　授業支援の内容（案）

- 陸上、器械体操（北海道ハイテクＡＣアカデミー）
- 水泳（セントラルフィットネスクラブ恵み野）

## ３．事業実施方法（案）

**４月～５月**　① 各小学校の支援希望日時を、市教委がそれぞれ取りまとめ

↓

② 市教委がそれぞれ支援団体に依頼

↓

③ 支援団体が、支援可能日時を市教委に連絡 → 市教委が各小学校に連絡

↓

**６月～**　④ 体育授業支援実施　※詳細は支援団体と各小学校で調整

↓

**終了後**　⑤ 各校は事業終了後、市教委に実績報告書を提出

↓

⑥ 市が、それぞれ支援団体に謝金を支払う　※上限あり

## ４．事業実施の効果・課題の検証について

各校から提出された実績報告書に基づき、実施結果について恵庭市学力・体力向上推進会議で報告し、事業実施の効果・課題について検証する。

資料４

# 恵庭市学力・体力向上推進会議設置要綱の一部改正（案）について

## １．改正理由

体力向上に係る分析や議論を行うにあたり、専門的な立場から助言を行う者として、委員に「体力向上に関わる有識者」を加える。

## ２．要綱一部改正（案）

| 現行 | 改正案 |
|---|---|
| 第１条 ～ 第２条 （略） | 第１条 ～ 第２条 （略） |
| （組織）<br>第３条 推進会議の委員は、10名以内とし、次に掲げる者又は団体のうちから教育長が委嘱する。<br>(1) 恵庭市教育委員会点検評価委員<br>(2) 恵庭市ＰＴＡ連合会<br>(3) 校長会<br>(4) 教頭会<br>(5) 学校運営協議会委員<br>(6) 学力向上アドバイザー<br>(7) 前各号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める者 | （組織）<br>第３条 推進会議の委員は、10名以内とし、次に掲げる者又は団体のうちから教育長が委嘱する。<br>(1) 恵庭市教育委員会点検評価委員<br>(2) 恵庭市ＰＴＡ連合会<br>(3) 校長会<br>(4) 教頭会<br>(5) 学校運営協議会委員<br>(6) 学力向上アドバイザー<br>(7) 体力向上に関わる有識者<br>(8) 前各号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める者 |
| ２ ～ ５ （略） | ２ ～ ５ （略） |
| 第４条 ～ 第７条 （略） | 第４条 ～ 第７条 （略） |

# 恵庭市学力・体力向上推進会議③

○ 平成３２年→東京オリンピック・パラリンピック開催
　　新学習指導要領・全面実施・小学校新教科書使用開始
　　大学入試制度改革→英語のヒアリング、リスニング重視
　　民間の英語力検査・検定を活用
○ 平成３３年→新学習指導要領・全面実施・中学校新教科書使用開始
○ 新学習指導要領～「２０３０年の社会と子どもたちの未来」を想定
　　「社会に開かれた教育課程」の実現
　　各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現
　　「主体的・対話的で　深い学び」（AL の視点）の実現

○ 英検ＩＢＡ～２０１５年４月に出版したテスト。英検の良質な問題を利用して開発した「英語能力判定テスト」をベースとして、テスト時間の短縮（４５分）、低価格化（５００円）、Ｒ（リーディング）とＬ（リスニング）の出題比率の均等化を図っている。「目標設定→英語学習→英語力測定」の学習サイクルの「１つの指標」として活用。

○ 英検ＩＢＡ　ＣＳＥスコア～ＣＳＥ（Ｃｏｍｍｏｎ　Ｓｃａｌｅ　Ｆｏｒ　Ｅｎｇｌｉｓｈ）とは、ＣＥＦＲ（ヨーロッパ言語共通参照枠）に対応した尺度。国内外のあらゆる資格・検定試験で「ＣＳＥ」を共通スコアとする。スコアを共通化することで、英語学習の初期段階から、継続的に伸長度を確認できる。スコアを４技能に分類して表記することで、各技能別の能力が把握しやすい。ＩＢＡはＲとＬの２技能のみ。

○ 受験レベル～テストＡ～Ｆ（６段階）・テストＦ→自治体版限定セット
　・テストＡ～準１級・２級レベル「０～１４４０」スコア
　・テストＢ～　２級～３級レベル「０～１３００」スコア
　・テストＣ～準２級～４級レベル「０～１１００」スコア
　・テストＤ～　３級～５級レベル「０～１０００」スコア・・・中２年１２月
　・テストＥ～　４級・５級レベル「０～　８００」スコア
　・テストＦ～　　５級レベル「０～　６００」スコア

○ 義務教育終了時に「英検３級合格」レベル程度まで育てる→小中学校の目標
○ 児童・生徒～その時点での自分の英語力が分かる。次の目標が定まる。英検は自身の「資格」となる。